

第45回長根自治会総会(書面議決)の結果

代議員総数73名中71名(97%)が投票し承認 鎌田会長2期目へスタート、自治会報は不定期発行へ



3月7日(日)に開催された新旧理事会で挨拶する鎌田会長

長根自治会第45回総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、集合方式の総会を「書面議決」に変更して実施されました。郵送により議決書は提出され、代議員総数73名中71名から投票があり、一部議案に反対が2名でしたが、賛成多数で承認されました。議決結果は代議員の皆さんに各班長経由でお届けしました。議決の際代議員の皆さんから寄せられたご意見等と長根自治会理事会四役会議の見解は裏面に掲載しました。この見解の中で当面「自治会報は不定期発行とする。」事になりました。

春季大掃除は予定通り実施・運動会は中止し別種目で開催を検討



令和3年6月6日(日)に予定している春季大掃除は予定通り実施する事にしていますが、この場合でも感染予防には十分注意しながら対応をお願いします。令和3年7月4日(日)に予定している長根自治会運動会は新型コロナウイルス感染症の拡大傾向の中で開催を中止する事にし、別の種目(輪投げ等)での競技を開催する方向で検討する事になりました。(上の写真は1昨年の運動会の一コマ)

【薫風】桜の花もアツという間に散り葉桜になってしまいましたが、素通りして見る事しか出来ず寂しい限りでした。岩手においても毎日数名の感染者が出ており、ワクチン接種が待ち遠しいですが、まだこれからのマスク、手の消毒は欠かせない日々です。自治会としても行事をするには、感染に十分留意していかなければならず、現在検討中です。【長根自治会 会長 鎌田マキ】

自治会総会書面議決に寄せられたご意見を全文掲載

第45回長根自治会総会（書面議決）代議員の意見（着順に掲載）

No.1、長根自治会会報ですが全世帯の配布は必要ないと思います。回覧だけでよいと思います。No.2、第3号議案につきまして、コロナ禍において人が集まるイベントを行う事により感染リスクが高まる事への懸念から、反対とさせていただきます。No.3、P17のゆりが丘住宅と葉の木沢住宅の班長名が違います。No.4、長根自治会規約第3条に「本会は長根地域に居住する住民をもって組織し、～」とありますが、自治会への加入意思は誰が、いつ確認するのでしょうか。特に、賃貸住宅（アパート、長屋、戸建て、等）への対応を明確にお願いします。家主の不動産経営との関係で、班長だけでは荷が重過ぎます。第3条の中に担当者の設置を規定願います。No.5、印刷費が高いのでは？外注発注先、リストを増やしてみても、と思う。No.6、町内会から賛否のアンケートを取りましたが3割しか集まりませんでした。でも、否の意思表示がないものは賛成という意志と考えられると判断しました。No.7、自治会報について、現在、月初めに回覧用と各戸配布の二本立てになっていますが、回覧で済むのなら個別（全戸）配布は必要ないと考えます。（保存されている人は、ほとんどいないと思いますので）経費的にも大きく節約でき、それを他に有効に利用したらよいと考えます。

ご意見に対する長根自治会理事会四役会議の見解も掲載

長根自治会理事会四役会議の見解

代議員総数73名中71名（97%）から郵便による投票を戴きました。ご協力に感謝申し上げます。また、ご意見等は7名の皆さんからいただきました。この内3項目が長根自治会報に関するものでした。自治会報は月1回の定期発行で約15年に渡り自治会の行事を会員の皆様にお伝えしてまいりました。しかし昨年からのコロナ禍で自治会行事が中止になる中ではこの役割も果たし得なくなっている現状があります。このような現状に鑑み、当面の間、不定期発行とし、会報の内容に応じて回覧、全戸配布を検討する事としたいと考えています。No.3のP17の校正ミスに関してはお詫び申し上げ訂正させていただきます。No.4は貴重なご意見として今後の理事会等で議論させていただきます。大変ありがとうございました。

いきいきサロン長根 令和3年度 初めての介護予防教室開く



クイズの答え合わせ



血圧測定（健康相談）



フレイル予防は3プラス1と講話

滝沢市役所地域包括支援センター主催による令和3年度としては第1回目の介護予防教室が4月20日（火）午後1時30分から長根公民館で開催されました。初めに「フレイル」予防の講話、次にクイズ、最終コーナーは血圧測定（健康相談）の内容で実施されました。

【編集後記】平成19年度から全戸配布、毎月発行（定期発行）してきた長根自治会報。自治会と会員のパイプ役を果たしてきました。コロナ禍で自治会行事が中止になる中でこの役割は終了。次号から不定期発行、全戸配布は必要な場合に限定。回覧で済む場合は回覧発行。になります。15年間に渡るご支援に感謝。【事務局長 谷地】